

# 鈴木あつこ

NEWS

リベラル群馬ニュース  
第3号 2022年春編

## 一般質問に初登壇！

いつもお世話になっております。  
県議会議員の鈴木あつこです。

第1回定例会が2月16日～3月18日に開かれ、過去最大規模となる8187億600万円（前年度比7%増）の2022年度一般会計当初予算案など55議案を審議し、可決しました。

今議会で、私は初めて一般質問に登壇いたしました。

様々な重要テーマがある中で、質問内容は、これまで政治の世界で光が当たってこなかった分野や、制度のはざまですら苦しむ人たちの声を上げることが意識しました。

地元の長年の懸案についても質し、前向きな答弁をいただきました。

常任委員会や特別委員会では皆様からのご意見をもとに、県当局の姿勢を追及しました。

次ページで詳しくお伝えいたします。

通学路の路面標示を  
補修しました！



ぐんま女性議員  
政策会議から  
知事に政策提言  
2021.11.24

会派  
「リベラル群馬」から  
知事に政策提言  
2021.12.4



# 一般質問



県議会HPから質疑の様子が見られます。  
(議会中継↓録画配信  
↓議員名から選ぶ)

## 子ども・若者の命や権利を守るために

【質問】児童虐待相談数が2020年度は2286件で県内過去最多。一方、児童相談所の児童福祉司の高い病気休職率や離職率が課題。職員定着を図る取り組みは？

【回答】県は2013年度から計40人の福祉職職員を採用、年度末時点でうち8人が離職、離職率が高い。時間外の多さや不規則勤務などの恒常的ストレスが理由。今後は

個々のライフステージに合った働き方で、高い専門性とやりがいを持って仕事を続けられるよう計画的な人員配置と人材育成に努める。

【私の視点】児童相談所は子どもの命を守る最後の砦です。しかし、児童福祉司の勤務経験は3年未満が半分以上、5年未満も含めれば約7割に達します。業務の難しさや責任の重さを考えれば異常です。児童虐待が社会問題化する今、児童相談所の体制整備を急がねばなりません。

【質問】4月から民法の成人年齢が18歳に引き下げられる。自己判断での各種契約が可能になり、若者が詐欺等の被害に遭う危険性が高まる。また、芸能スカウトを装って若い女性をだまし、アダルトビデオに出演させる事案が発生している。若者を守るための取り組みは？

【回答】関係機関と連携して未成年向けの消費者教育や啓発活動に取り組んできた。2019年度には独自教材を作り、2021年度は渋川工業高校の生徒と連携して動画を作成、さらに全ての高校3年生に相談窓口などを記した啓発物を配った。また、重大な人権侵害であるAV出演強要問題については、若年層性暴力被害予防月間において、啓発や注意喚起、相談窓口の周知に取り組んでいる。警察や県性暴力被害者サポートセンターなども連携して引き続き対策に努める。

## 誰もが生きやすい社会を



## つくるために

【私の視点】国会で、高校生のAV出演阻止の為、「未成年者取消権」の特例的な法制化に向けた議論もあります。「AVは遠い世界の話」と思われがちですが、高崎駅前でTV番組への出演と騙された女性もいます。簡単なインタビューだと応じた結果…。あなたのかわいい娘さんやお孫さんが被害に遭わない保証はありません。私は法制化と、騙した側への厳罰化を求め続けます。

【質問】JR倉賀野駅の東側にある県道133号(元島名倉賀野線)と高崎線、八高線、貨物線の三つの線路が交差する中里街道踏切は、地元で「開かずの踏切」として有名。歩行者も多く危険だ。今後の歩道設置計画について伺いたい。

【回答】踏切を含む200メートル区間で幅員2.5メートルの歩道設置と車道の拡幅に向けて、用地買収を進めてきた。2022年度から踏切前後の工事に着手、2023年度は鉄道事業者による踏切内の工事を進める。完成時期は未定。

## 地域の思いを実現するために

### 「開かずの踏切」

【質問】県には障害者や女性、外国人らの人権を尊重する個別の条例があるが、被差別地域出身者や「GBI」、ハンセン病元患者、昨今は新型コロナウイルス感染者ら、差別から守るべき対象は他にもおり、線引きすべきではない。全ての人の人権を守る条例の制定が必要ではないか？

【私の視点】工事区間は新堤(ため池)の横断歩道付近から踏切南側の十字路付近までです。踏切前後の工事は概ね年内に終わる見込みですが、踏切内は電車が通らない深夜2時頃から午前5時頃までしか工事できないため、数年かかる可能性が

# 2022 年第 1 回定例会クローズアップ

総額 8187 億 600 万円の 2022 年度予算案が可決！



←詳しくは  
こちらから！

新しい  
事業

・企業の再エネ投資支援 ・アニメ「ぐんまちゃん」続編制作  
・「リトリート」の聖地化 ・県内初の夜間中学の宣伝 など

## 倉賀野町交番の新築整備

旧中山道沿いにある現在の倉賀野町交番の移転・新築が決定。新交番は倉賀野駅北口から国道17号に延びる市道の交差点付近に設置。2022年度中に工事開始、完成次第、供用開始。

## 「二千五十年に向けた『ぐんま5つのゼロ宣言』実現条例案」

### 「ぐんま5つのゼロ宣言」とは？

ほか 55 議案を可決

- ①自然災害による死者ゼロ ②温室効果ガス排出量ゼロ ③災害時の停電ゼロ  
④プラスチックごみゼロ ⑤食品ロスゼロ の5つのゼロを目指す宣言。

脱炭素社会の実現に向けて、延床面積 2000 m<sup>2</sup>以上の大規模施設の新築・増改築時に太陽光発電などの再生可能エネルギー（再エネ）設備の設置などを義務づける。

## 2021 年度分の総額 391 億 4830 万円の一般会計補正予算

都道府県版「GoTo トラベル（仮）」、県庁 31 階フロア整備（8606 万円）

ほか計 34 議案を可決

倉賀野駅を誰に  
でも優しい駅に

【質問】倉賀野駅のバリアフリー化、エレベーター設置のめどは？

【回答】県では国の方針に従い、1日利用者数3000人以上の駅について、市町村や事業者と連携して取り組んでいる。倉賀野駅は条件を満たしている（※利用者数3700人）が、自由通路の途中に大きな段差があり、エレベーターの設置だけではバリアフリー化目標を図れない。引き続き解決方法を検討する。

【私の視点】バリアフリー法に基づく国の計画では、2025年度までに利用者数3000人以上の駅について「原則全てバリアフリー化」としています。県は、JRや自由通路を管理する市からの提案を待っています。交通弱者を作らないため、早急の取組を求めます。

吉井地区で長年の  
課題となつている  
渋滞問題に挑む。

【質問】吉井町の県道高崎神流秩父線のバイパス整備事業について進捗状況を教えてください。

【回答】まず、岩崎交差点での右折車線不足と254号バイパス開通による交通量増加で渋滞が激しくなっている多胡橋前後の四車線化に取り組む。用地買収を進めており、2022年度中に四車線化の工事に着手。残る工区は、用地買収や埋蔵文化財調査に取り組み、2029年度の全線開通を目指す。



↑倉賀野駅の自由通路  
途中に大きな段差があり、  
バリアフリー化を困難に  
している

### 事業位置





# 私は、人のお話を聞くのが好きです。

ぜひ、皆さんのお話を聞かせていただけませんか？

ご意見、ご要望、ご相談などなど。近況報告でいいんです。どうか聞かせてください。

悩み事や不安、不満…それら全てをすぐに解決できるとは限りませんが、貴方の「声」や「思い」を行政や政治の場に届ける為に、



## ぜひ、「鈴木あつこ」を使ってください。

### お話ししましょう！

毎週水曜 10～15時事務所オープン

毎月第1、第3日曜 10～12時『おしゃべりサロン』

※急な予定変更あり

公式  
LINE  
こちらからも是非！



### 例えば、こんなお話を伺いました。

- コロナ禍で子どもたちに我慢をさせすぎ！
- 高校でも給食を実施してほしい
- 学童の終了時間が早すぎてフルタイムで働けない
- 強度行動障害に対応できる放課後等デイサービスが見つからない
- 学校の制服を寄付したい
- 中古でいいから子どもの体操着が欲しい
- 通学路なのに猛スピードの車が多くて危険
- 道路の停止線が消えている
- 中年の息子が引きこもり状態
- 母が認知症になった などなど

県や関係市町村、団体などに要望を伝えたり、仲間と解決策を考えたりしています。



## 鈴木あつこへの応援もよろしくお願いします。

### ボランティア

ビラ配り、座談会の開催、SNS 投稿シェア、LINE 登録など、無理のない範囲でご協力いただければ幸いです。

寄付金も受け付けております。

振込先：群馬銀行 倉賀野支店 0802489 鈴木あつこ後援会

### ご寄付

### 「鈴木あつこを応援する会」

会員を募集中！

▽お名前 ▽ご住所 ▽電話番号 ▽FAX 番号▽メールアドレス  
▽所属団体・紹介者 ▽ポスターや看板の設置可否 を、  
下記事務所までお好きな方法でお知らせください。  
右のQRコードからもご登録いただけます。



日々の  
活動報告は  
こちらから

鈴木あつこ事務所

〒370-1201 倉賀野町 1592-2 (旧「小金沢医院」2階)

TEL/FAX 027-335-6485※留守番電話の時はメッセージをお願いいたします。

Mail suzuki.atsuko2021@gmail.com

鈴木あつこNEWS (リベラル群馬ニュース) 発行人 鈴木敦子 1981年生まれ。元毎日新聞記者。小中学生を子育て中。趣味は古墳巡りとスポーツ観戦。好きな言葉は「個人的なことは政治的なこと」